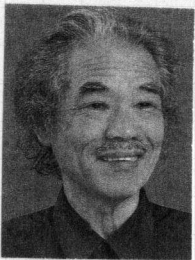


神彰 カネシマ 興行師。大正十一年北海道生れ（一九二一）。高校卒業後満洲生活、新聞記者等を経て、昭和二十一年ドン・コザック合唱團の日本公演を實現。またアート・フレンド・アソシエーションを興して、エメリヤン・クリンスキー著『歌うドン・コザック』（長谷川澄訳、昭和二十一年一月二十日刊）を出版。その後もボリシヨイ・サーカスなどの大物公演に成功し、大宅壮一に呼び屋と命名せられて一躍その名を知られた。二十七年小説家吉佐和子と結婚し、二十九年協議離婚。のち居酒屋チエーン北の家族を經營。

著書 『怪物魂ー死んで生きろー』（昭和五十年四月五日ドトブストセラズーベストセラシーシリーズ）、『天機を盗むーこの世の中心は、人とおし測る狂いのない物指しはない』（平成六年二月二十日）『お書房』等。



天機を盗む

この世の中心は、人とおし測る狂いのない物指しはない。

神彰 カネシマ

お書房

